

ICTを活用したするめいか漁情報発信事業

今村豊・高坂祐樹

目 的

海洋環境の変化によるスルメイカ漁場の変化や資源の変動により、漁業者は効率的なスルメイカ操業が困難となっていることから、ICT（情報通信技術）を活用した漁場情報の収集・解析及び漁業者への迅速な情報提供システムを開発する。

材料と方法

スルメイカ漁獲情報管理システム「いかなび@あおもり」のデータ収集・配信フォームの開発を行った（図1,2）。また、全国各地で操業している本県漁協所属のイカ釣り漁業者にシステムを運用してもらい、不具合の確認や操作性などの意見を聞き取り、システムの改良を行った。

結果と考察

スルメイカ漁獲情報管理システム「いかなび@あおもり」は2019年5月に開発し、6月から試験運用を開始し、不具合の修正及び漁業者の意見を取り入れながら利便性の向上を図り、システムの改良を行った。漁業者から得られた情報については、自動集計の後、迅速に漁業者に提供され、効率的な操業に繋がっていると考えられる。

また、それらの情報が蓄積されることにより、漁況予測等への活用が期待できると考えられた。

図1. データ収集フォーム

銘柄	箱数
20入	15
25入	119
30入	14
その他	5

銘柄	箱数
20入	39
25入	58
30入	17
その他	2

図2. データ配信フォーム